

**「京丹後市市の花と木と歌制定委員会」  
第6回会議記録**

開催年月日	平成21年8月6日（木）
開始・終了時刻	午後1時35分から2時20分
開催場所	市役所201会議室
出席者	<p>【出席委員】7人 板垣久彌委員長、安井美佐子副委員長、安達昇平委員、上羽敏夫委員、梅田耕之助委員、松江賢一委員、毛呂紀子委員</p> <p>【欠席委員】4人 今西欽一委員、沖田康彦委員、藤井美枝子委員、吉田真也委員</p> <p>【事務局】6人 《教育委員会》 水野教育次長、安達社会教育課長、吉田文化財保護課長 《企画総務部》 渡部企画総務部長、藤村企画政策課長、今西企画政策課主任</p>
会議次第	<p>1 挨拶</p> <p>2 協議事項 (1) 市の歌の制作結果について (2) 市の花と木の選定について</p> <p>3 その他</p>
配付資料	<p>1 「市の歌」の制作について</p> <p>2 京丹後市の花と木の選定結果</p>
決定事項	<p>1 梅田俊作氏が作詞し、藤原哲也氏が作曲した歌を、市の歌とすることを決定。</p> <p>2 市の花と木は、複数ではなく、1つずつ選定することを決定。</p> <p>3 制定委員会として、市の花はトウテイラン、市の木はブナとすることを決定。</p>
会議記録作成者	企画総務部企画政策課 主任 今西 靖佳

## 会議中の主な発言要旨

項 目	主な意見
<p>1 開会挨拶 板垣委員長</p>	<p>出にくい時間にもかかわらず、お集まりいただきありがとうございます。前回の制定委員会から約1ヶ月が経過しました。内容によっては、もしかしたら次回にずれ込むこともあるかもしれませんが、できることなら今回の制定委員会で結論を出したいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願ひします。</p>
<p>2 協議事項</p>	<p>(1) 「市の歌」の制作結果について</p> <p>資料1に基づき、事務局（社会教育課）から制作結果を報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作詞は、市の歌制作の観点や市の歌に対するイメージ等を事前に伝えた上で、網野町出身の絵本作家の梅田俊作氏に依頼し、4月20日に成果品を受領した。</li> <li>・ 作曲は大宮中学校教諭の藤原哲也氏に依頼し、作詞の提示を受けてから、作曲に着手していただいた。</li> <li>・ 7月11日に、作曲者が事務局と共に作詞者の自宅を訪問し、作曲者の立場から意見交換や調整等を行った。調整の結果、2ヶ所の文言の調整、大人から子どもまで誰もが歌い易い曲とするための合意をいただいた。</li> <li>・ 作曲は、7月31日に成果品を受領した。</li> <li>・ 一連の制作状況については、「京丹後市市の歌検討委員会」にも報告済みである。</li> <li>・ 本日の制定委員会で「市の歌」としての承認が得られれば、11月21日に予定されている式典での披露に向けて、児童合唱団への指導等を依頼していく予定である。</li> <li>・ 歌詞（P2～6）は、1番（P3）の3行目「色褪せずに」を「色鮮やかに」へと変更し、4番（P6）の最後の部分「ひたすらに」の前に「ただ」という文言を追加した。作曲者の立場から、このようにした方が歌い易いとのことである。</li> <li>・ 2番（P4）の歌詞が最初にできた部分であり、この内容が全体の根本を成している部分である。作詞者は、灰色を希望の色と捉えておられ、2番に対する思い入れが特に強い。</li> </ul> <p>完成した歌を披露。</p> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌い易い歌だという印象を受ける。</li> </ul>

- ・ 今すぐにでも歌ってみたい感じの歌である。
- ・ 優しい感じがするし、良いと思う。

【質疑応答】

Q：4番目の歌詞の、「京丹後の明日へ」というフレーズの、京と丹後の間に、点（、）が入っているのは、なぜか。何らかの意味があるのだろうか。

A：作詞者の思いで、点（、）を入れた。恐らく、その後すぐ「明日へ」という文言があることから、京丹後の「京」に“今日”がかけてあるのだと思う。

⇒制定委員会として、完成した歌を市の歌とすることを決定。（異議なし。）

(2) 市の花と木の選定について（○印：委員長発言／・印：委員発言／→：事務局発言）

○ 前回の会議において、市の花と木は1つに絞るべきだという意見が多かったが、今回の会議では、その意見を前提にして進めていけば良いか。それとも、改めて検討した方が良いか。

- ・ 複数選定しても良いのではないかと考えていたが、前回の会議の後、いろいろな人に意見を聞いてみたところ、「シンボルはやはり1つだ。」という意見が多かった。自分としても、複数選定にこだわる訳ではないし、1つに絞れば良いと思う。

- ・ 1つに絞ることに異議はないが、本当に制定委員会として1つに決定しても問題ないのだろうかを考える。市長が、初代の市長として、市の花と木を制定することに対し、何らかの思いやこだわりを持っておられないのだろうか。

→ 市長には、前回の制定委員会の結果は報告済みである。また、市長として、1つにすべきとか複数にすべきとかいったようなこだわりはなく、制定委員会で決定していただいたら良いという考えである。

○ 皆で愛しながら、皆のものとして育てることができるとものと考え、市の花と木は、やはり複数ではいけないと思う。1つに絞るということで話を進めても問題ないか。

（異議なし。）

○ 市の花と木を1つずつ選定すると決定したことを受け、まずは木から選定したい。

- ・ マツクイムシの被害で、無残な姿になっている海岸線のマツを見ると、市の木として選定するのはいかななものかと思う。ブナの方が良いのではないかと思っているが、ブナは誰でも知っている木ではない。そういう点では、マツは皆に知られているし、親しみも深いことから捨て難い。結果はどうなるか分からないが、どちらかに決定するのは難しい。

- ・ ブナが良い。なぜなら、京丹後市の海は、京丹後市で生まれた水が海に流れるということで、他ではあまりないように感じる。水というものの大切さを認識して、米も美しい水からできるということから考えても、ブナは本当に力強い木だと思う。人間にとって、水がどれだけ大切かということはいろいろと勉強してみるとよく分かることだが、ブナが市の木になれば、京丹後市の水が綺麗だということを、外部にもアピールできると思う。
  - ・ どちらかを消去するということになる、マツを削らざるを得ない。マツは象徴的ではあっても、海岸線であれば全国どこでも見られる木である。京丹後市の地形的なことから考えてみても、ブナ林は源流に位置しているし、近年脚光を浴びているコシヒカリがその流域で育てられているというイメージからいっても、ブナの方が良いと思う。
  - ・ 非常に迷うが、外に向けて発信するならマツの方が良いのではないかな。
  - ・ 外に向けて発信するなら、ブナの方が良いと思う。
  - ・ 水源林として、生命の源を感じられるブナの方が良い。
- 他の所の事例を見ていると、全会一致で決定しない場合には、投票して決定するという方法もあるようだ。
- 雰囲気的には、ある程度固まりつつあるが、最終的には投票にて決定することとしたい。

**【投票】**

ブナ 6 票、マツ 1 票

⇒市の木をブナとすることを決定。

○ 次は、市の花を選定したい。

- ・ ツツジはどこにでもあることから除外するとして、フクジュソウとトウテイランのどちらが作りやすく、繁殖力が強いかと考えてみると、トウテイランの方が比較的簡単に馴染み易い。フクジュソウは、育てるのが難しいが、トウテイランであればどこでも簡単に作れるので、市の花とするなら、トウテイランの方が良いのではないかな。
- ・ トウテイランは、ラベンダーに似ていて綺麗である。
- ・ フクジュソウは、漢字で書くと（福寿草）、いかにも幸せを運んでくれそうな感じである。何よりも、丹後のうらにし模様から春を待ちわびているときに、土手等にフクジュソウがつぼみから咲いていく姿は、明日に希望を持たせてくれるし、清々しい印象がある。ま

	<p>た、市の花をいろいろな場面で活用するとして、フクジュソウの方が図案にし易いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらの花も捨てるのが難しいが、名前の持つ感じからいくと、フクジュソウの方が良い気がする。それに、フクジュソウは寒いところでしか育たない貴重な花であり、そういう花だからこそ大事にしたいという思いがある。</li> <li>・ フクジュソウは、慎ましい花で、冬を耐えて春を待つというイメージがあるが、そのイメージが、丹後の人の気質に合っているような気がする。</li> <li>・ フクジュソウでは、フラワーロードは絶対に作れない。丹後が観光で生きていくと考えたとき、人の通るところに、市の花が沢山咲いていたら良いと思う。そう考えると、トウテイランの方が良いのかなという気がする。</li> <li>・ 木はブナに決定したが、地域を売る面からしても海は捨てるのが難しい。そういう思いからすると、フクジュソウよりトウテイランの方が良いと思う。</li> </ul> <p>○ 意見を聞くだけでは選定できそうにないので、花も投票で決定したい。</p> <p><b>【投票】</b></p> <p>トウテイラン 4 票、フクジュソウ 3 票</p> <p>⇒市の花をトウテイランとすることを決定。</p> <p>3 その他      今後のスケジュールとして、制定委員会の結果の市長への報告、議会への説明、そして11月21日に予定している市政5周年記念式典で披露という流れとなっていることを事務局から報告。</p> <p>4 閉会挨拶 安井副委員長      皆様、本当にお疲れさまでした。</p> <p>歌は素晴らしい歌で皆の意見が一致しましたが、花については、自分自身も迫られるような思いで決断させていただいて、トウテイランということに決定しました。決定したからには、市の花として大事にしていきたいと思えます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
--	---